

日本気象学会2001年度春季大会シンポジウム

「21世紀の気象学—将来展望—」の報告

はじめに

今 須 良 一*

2001年春季大会シンポジウムのテーマ設定について大会実行委員会で話し合いが行われた折り、21世紀最初のシンポジウムであることから、将来展望的な内容にしようという点では、すぐに全員の意見が一致した。しかし、その切り口をどのようにするかについては、さまざまな意見が出された。例えば、気象力学、雲物理学、大気放射学、…といった、いわゆる教科書的な分野分けに沿い、20世紀に残された課題や今後の研究の方向性について講演して頂くという案も出された。しかしながら、新世紀に入り、単に学問としての発展だけではなく、社会的な要請に応える一科学分野としての気象学の位置づけというものが、今後、益々重要になるであろうとの認識から、そのような視点も加えた企画にするとすることで最終的に合意が得られた。

とはいうものの、限られた時間の中で幅広い気象学の分野すべてを取り上げることはできないことから、テーマをかなり絞らざるをえない。そのため、独断的ではあるが、以下のように大きく分けて4つの分野についてご講演を頂くこととした。

まずは、今後、惑星科学として大きな発展が期待されている力学・気候学。次に、社会的な要請として最も具体的、かつ、直接的な進展が期待されているメソ気象学。さらに、大気環境を考える上でその中心となる大気化学。最後に、地球環境、特に温暖化問題を意識して、そのキーとなる物質循環に関する研究分野を、

陸域と海洋とに分けて取り上げることにした。
以下に、当日のプログラムを示す。

基調講演（敬称略）：

1. 惑星科学としての力学・気候学
林 祥介（北海道大学理学研究科）
2. 防災・生活情報のためのメソ気象学
新野 宏（東京大学海洋研究所）
3. 環境問題における大気化学
中根英昭（国立環境研究所大気圏環境部）
4. 物質循環としての陸域・海洋生態系との相互作用（陸域）
伊藤昭彦（地球フロンティア研究システム）
5. 物質循環としての陸域・海洋生態系との相互作用（海洋）
山中康裕（北海道大学地球環境科学研究科）

- ・コメント 松野太郎
(地球フロンティア研究システム)
秋元 肇
(地球フロンティア研究システム)

・総合討論

具体的には、今後進展が期待される新しい研究分野や方向性、モデル開発の立場から求められる観測項目・精度、さらには、各分野における学問としての魅力・おもしろさ・夢などについてお話し頂くよう、講演者の方々をお願いをした。当日は、それぞれの分野における研究のレビューなども交え、分野外の人たちにも分かりやすく興味深い内容でお話をして頂いた。さらに、これらの講演に続いて、長年、気象学会をリー

* 東京大学気候システム研究センター、
imasu@ccsr.u-tokyo.ac.jp

—2001年10月19日受領—
—2001年11月6日受理—

ドされてこられたお立場から、松野太郎先生と秋元肇先生に、気象学における歴史的な視点からのコメントや、今後の発展性における他学会との比較などの点からのコメントを頂いた。進行の不手際などから、十分な総合討論の時間がなかったことを、司会者としてお詫びしなければならない。が、会場一杯の参加者の

方々の、熱心な眼差しが最後まで壇上に注がれ続けていたことをひしひしと感じ、そのことから本シンポジウムが大変有意義なものであったことを確信することができた。ご講演頂いた先生方や参加者の皆様に厚く感謝したい。

A Report of the Symposium on “Meteorology in the 21th Century :
The Prospects” at the 2001 Spring Assembly
of the Meteorological Society of Japan

Ryoichi IMASU

*Center for Climate System Research, The University of Tokyo. 4-6-1 Meguro,
Komaba, Tokyo 153-8904, Japan.*

(Received 19 October 2001 ; Accepted 6 November 2001)

Contents

1. Yoshiyuki HAYASHI : Atmospheric Dynamics and Climate Physics as Planetary Science.
 2. Hiroshi NIINO : Mesometeorology for Disaster Prevention and Daily Life.
 3. Hideaki NAKANE : Atmospheric Chemistry and Environment Problem.
 4. Akihiko ITO : Interactions between Atmosphere and Biogeochemical Cycles in Terrestrial Ecosystem.
 5. Yasuhiro YAMANAKA : Interactions between the Atmosphere and Biogeochemical Cycles in the Ocean.
 6. Taroh MATSUNO : Comments 1.
 7. Hajime AKIMOTO : Comments 2.
-